



# 福山西ロータリークラブ 例会情報



( 2020~2021年度 )  
[ 第 1450 回例会 ]-(29)

会 長 佐藤 教夫 幹 事 瀬尾 義裕

クラブ会長テーマ

「ひろげよう、ロータリーの輪を」

日 時 2021年6月22日(火)  
12:30~13:30  
場 所 福山ニューキャッスルホテル  
例 会 行 事 点 鐘・ソング「君が代・奉仕の理想」  
ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照)  
食 事

例 会 情 報 [会 長 報 告](#)  
[幹 事 報 告](#)  
[出 席 報 告](#)  
[S A A 報 告](#)  
[ス マ イ ル 報 告](#)  
[プ ロ グ ラ ム 情 報](#)

・理事・役員退任挨拶

そ の 他 報 告  
そ の 他 情 報 [メークアップ情報\(来週分\)](#)  
[メークアップ情報\(再来週分\)](#)  
[今 後 の 行 事 予 定](#)  
[ク ラ ブ 活 動 報 告](#)

\*Ctrlキーを押しながらクリックするとそのページが表示されます。

## 【 会 長 挨拶 】

本年度の例会も本日と来週を残すのみとなりました。

以前から気になっておりました、脇ガバナーは「山頭火」の句をガバナー月信などでたびたび話の中に折り込まれます。「山頭火」は、なんとなく詩人だろうという事は想像する事ができましたが、私の教養レベルでは全く存じ上げませんでしたので、調べてみる事にしました。

明治15年(1882年)、現在の防府市に生まれまして、本名「種田正一」と言います。現在、防府駅北口に山頭火の像が立っているようです。脇ガバナーらしく、やはり防府の人でした。10歳の時に、母親が投身自殺してしまい、この事がその後の人生に大きな影響を与えたようです。学業成績も良く、優秀な方でしたが、酒が好きで、飲んだくれのおじさんという感じでしょうか。芭蕉と同じ様にあちらこちらへと旅をしながら句を詠んでいます。

昭和15年(1940年)58歳で亡くなるまでに、8万を越える句を詠んだ、ということです。

今まで、俳句というのは、五七五で作り、季語を入れなければいけない、などの決まりの上で、成り立っているものとはばかり思っていました。この山頭火の詠む俳句は、「自由律俳句」とで、それらの決まりを廃し、「～かな」、「～や」、「～けり」などの言葉も使わず、口語で作るのだそうです。当時とすれば、前衛的だったのでしょうか、それでも、初期の頃はちゃんと五七五で詠んだ句もたくさん残っています。

6月のガバナー月信で紹介された「山あれば山を観る 雨の日は雨を聴く あしたもよし ゆうべもよし」という句も、私の様な素人にはよくわかりませんが、読んでみるとなんとなく、気持ちも落ち着き、いい感じがします。

面白いと思った句を少し紹介します。

“どうしようもない私が歩いている”

“音はしぐれか”

“まっすぐな道でさみしい”

“生死の中の雪ふりしきる”

これが俳句か、と考え込んでしまいます。

制限が無いからと言って、ただ言葉を並べただけでは、俳句にならないでしょうから、これから少しずつ「山頭火」や「自由律俳句」を勉強してみようか、などと考えています。ネットで調べてみましたら、作品集や伝記本などたくさん出版されておりました。

本日は「理事・役員退任挨拶」です。私も含め、理事・役員の皆様だけでなく、会員の皆様も消化不良と言いますか、欲求不満の残った一年だったかと思われまます。

これからは、ワクチンも行き渡って来ます。コロナも終息に向かいますので、7月からは心機一転、次の能登年度を大いに盛り上げてまいりましょう。

[表紙へ](#)

## 【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

### 【理事・役員退任挨拶】

#### 《会長エレクト・・・能登 伸一》

今年度、会長エレクトとしてまた奉仕プロダクト外委員長という役割を頂きました。佐藤会長のすぐ隣にいて協議会での会長判断などいろいろと学ばせて頂きましたが、クラブに対しての自分の役割というものをほとんど果たすことが出来なかったと反省しています。

7月から始まる会長としての1年のことが常に気になっております。佐藤会長のアドバイスもあって早めに準備を始めたこともあり6月8日の協議会をもって次年度の計画もほぼ固まりました。活動計画書の表紙も含めてそれなりにいいものができると思っています。コロナ禍の1年経験したからこそ次年度はより一層クラブ会員同士の結びつきを大事にします。

皆様どうかよろしく願いいたします。

#### 《副会長・・・岡崎 隆》

2019年に西RCに入会して、右も左も分からないまま、「副会長」の大役を2020年7月より1年間させて頂き、随分戸惑う場面も有りましたが、僅かですがRCのいろはの「い」の入り口程度を理解した様に感じております。しかしながら皆様のご指導、ご鞭撻に依り、ご迷惑をかけながら何とか役を全う出来嬉しく思っております。

又、来期は、能登会長のもとで「社会奉仕委員会」を担当させて頂きますので、今後共宜しく願い致します。

#### 《副幹事・・・河村 直孝》

副幹事として、今期瀬尾幹事不在の時二度ほど代理で幹事報告をさせていただきました。来期は、幹事として能登会長とともに楽しいクラブ運営を行っていこうと思います。瀬尾幹事のように的確な理事会の仕切りが出来るか不安ですが自分なりに精一杯頑張ります。

#### 《SAA・・・平田 恭彬》

副SAA 梶原さんとSAA委員会を担当させていただきました。コロナ禍の中、緊急事態宣言が発出され、止む無く例会も休会せざるを得なくなり今年度の目標も十分な活動が出来ず残念な思いですが、皆様から気持ちよくスマイルをしていただき感謝いたしております。スマイルの発表もユーモアを交えてご紹介できるよう努めました但中々思うように出来ず反省しております。

会員の皆様には、色々のご協力いただきありがとうございました。

## 《会計・・・古井 正則》

今月末をもちまして当クラブ会計を退任致します。今年度を振り返りますと、会計の主要業務である日々の記帳並びに毎月の試算表の作成等につきましては、ここまで恙無く十分な内容をもってやって来たかなと思います。これはひとえに事務局の三ヶ島さんのご尽力によるものです、三ヶ島さんどうもありがとうございました。また、ここ数年来の懸案になっておりました会計システムのデジタル化につきましても、ほぼ実用に耐える内容に達したものと考えております。こちらについても尾熊さん並びに事務局・三ヶ島さんに拠る所がほとんどでありますので、改めて御礼を申し上げたいと思います、どうもありがとうございました。あとは心穏やかに会計監査の審判を待ちたいと思います。

さて、会計として、退任を前に一つ改めて申し上げておかなければならない事があります。当クラブの財政事情とそれに対する対応についてです。

当クラブの今年度の会計は、30周年記念事業から振り戻しの金額を含めて最終的には140万円程度の黒字で終えられそうです。ただ、これは多分に新型コロナ禍によってクラブ活動が大きく制限された影響によるものと考えるべきで、通常の活動が行われた場合、数十万円ほどのマイナスになっていた可能性が高いと思われます。一方で、過年度からの繰越金の残高は1年間のクラブ予算とほぼ同程度の額です。つまり、ここ数年の年間活動計画の規模を前提にそれだけを考えるのであれば、当面、クラブ運営は財政面においては特段問題なく継続していける状況にあります。

しかしながら、客観的に判断して、当クラブは現状で財政上の危機に瀕していると言えます。それは周年行事に起因するものです。周年行事は通常、各年度における基金の積み立てと過年度の繰越金の取崩、及び周年行事の登録料等によりその予算が賄われます。しかし、次年度以降新型コロナ禍の影響がないこと、並びに現状の年間活動計画の規模と会員数を前提とすれば、周年行事への積み立てはほぼ困難となります。よって、来る35周年記念事業においては、その財源の大部分を過年度繰越金からの取崩に頼ることとなり、周年行事のこれまでの通常の予算規模と現状の繰越金残高を踏まえれば、40周年記念事業開催後はクラブ財政は枯渇する可能性があります。

つまり、これまで通りに通常の年間行事を継続していけば周年行事のためのお金が足らなくなって繰越金のみならずクラブの存続の可能性に多大なダメージを与え、周年行事のための積み立てを強行すれば年間行事が大きく阻害されることとなります。これはすなわち、『通常の年間行事と周年行事のどちらを優先すべきか』についての「クラブとしての判断」が問われている、ということに外なりません。

この会計上の問題については、古井が前回会計担当であった2018-19年度においても幾度となく申し上げてきましたが、残念ながら現在に至るまで、僕の知る範囲では理事会やクラブ協議会、年次総会等のクラブの意思決定にかかわる場において一度もオープンな議論はされていないのではないかと思います。会員数が劇的に増加するといった事態にでもならない限り、この問題が先延ばしすることによって改善されることはあり得ません。むしろ、先延ばしにすればするほど状況は悪くなるでしょう。あまり時間的な余裕はないと思うのですが。

来月から始まる次年度の予算に、この問題に対する回答を反映することはスケジュール的にも困難だと思いますので、次次年度以降のために、理事会や長期ビジョン委員会、次次年度のためのクラブ協議会等の場において真剣な検討がなされることを切にお願いして、退任の挨拶に代えさせていただきます。

1年間どうもありがとうございました。

**《職業奉仕委員長・・・石川 真吾》**

一年間、職業奉仕委員会委員長を務めさせていただき、ありがとうございました。

コロナ禍ということで活動も、職場例会はホテル館内の案内・またゲストも内部で済ました。思うようなこともできず、反省することばかりです。

7月からは例会委員会として一年活動しますが、分からないことは皆様へ意見を求め、少しでも良い内容ができればと考えます。7月から、よろしくお願いいたします。

**《社会奉仕委員長・・・鹿内 要秀》**

今年度もコロナウイルスの影響で社会奉仕委員会としての活動は規模を縮小しての開催や計画の中止などもありましたが、当初、収益が期待出来ないと思い、計画していなかった資源回収事業を行ったところ、想像以上の収益を上げることが出来ました。異体同心なれば万事を成すということなのでしょう。西クラブの結束の強さをあらためて感じたところです。一年間お世話になりました。

**《国際奉仕委員長・・・竹中 雅彦》**

コロナ禍の中でどのように国際奉仕活動を実践するかを探る年度になってしまいました。海外の支援ではなく国内、地域に向けて何が出来るかを探す1年でした。その中でYMCAに留学している学生にアンケート調査を実施し、彼や彼女たちの困窮の実態を垣間見ることができました。福山もコロナ禍でアルバイトもできず生活が困窮し食料、衣服が十分に買えない現実に驚きました。次年度は未だ終息の気配が見えないコロナ禍の中で、福山市に留学している学生に対して食料や衣服を支援し、留学生と市民の交流を支援します。皆様1年間有難うございました。どうぞ次年度もよろしくお願いいたします。

**《青少年奉仕委員長・・・内山 春夫》**

本年度はコロナ禍で、広島県東部地区中学校吹奏楽祭りをはじめ、ほとんどの計画が出来ない状況になりました。唯一メタルワークの大植社長に卓話をして頂いたのが、やっとのことでした。私も明日ワクチンの接種をしますが、ワクチン接種が、これから若い人にも進んでいけば来年度は中学校吹奏楽祭りを始めとした行事も、出来るようになると思いますので期待します。

**《直前会長・・・下平 靖孝》**

今年度は、直前会長として、理事を務めさせていただきました。

会長年度が終わってホッとしていると、あっという間に1年が過ぎたような感じです。佐藤会長・瀬尾幹事一年間大変お疲れ様でした。今年度は、前年度後半からコロナ禍の中で刻々と情勢が変わる中クラブ運営に関してはかなりご苦労なされたことと思います。居残り理事としてアシストする役目を担っていましたが、大した役目を果たすことができず申し訳ありませんでした。

次年度は、親睦委員長としてクラブに貢献できるように頑張ります。

### 《直前幹事・・・笹田 博之》

直前幹事として本年度のクラブ理事・役員を務めさせていただきました。  
前年度は幹事としてクラブ運営にあたっていました。昨年 2 月頃より新型コロナウイルス感染の蔓延、また緊急事態宣言発令等により年度末までの間クラブ例会はもとより予定行事もやむなく中止という事態に陥り正常なクラブ運営の舵取りが非常に難しい状況に直面しました。本年度におきましても同じような状況が続き会長、幹事もご苦労されたことと思います。現状では国をあげてのコロナワクチン接種がすすんでおり秋口くらいには感染拡大も終息していくものと思われます。次年度におきましては新型コロナウイルス感染の影響からときはなされて通常のクラブ運営、活動計画・行事が滞りなく実行されますことを心より願っております。最後になりますが一年間大変お世話になりました。

### 《副SAA・・・梶原 啓子》

平田 SAA の下、11 月頃までは SAA の役割をご指導いただきながら、隣に着席してお手伝いさせていただきました。その後、休会やテーブルの都合で隣に座ることもなくなり、平田様にまかせっきりで、お手伝いをしないまま今期が終わってしまいました。本当に申し訳ございませんでした。平田様が感謝の気持ちを込めて、ユーモアを交えながらコメントを読まれているのを感じて拝見しておりました。平田様のようにうまくはできませんが、本年度お役立ちできなかった分、来期は SAA として一生懸命取り組みます。

皆様、ご指導と御協力をよろしくお願いいたします。

### 《会計監査・・・岡部 徳雄》

これからが仕事です。しっかりと会計監査の仕事に致します。  
一年間、ありがとうございました。

### 《会員増強委員長・・・尾熊 孝典》

本年度 会員増強委員長を務めましたが、思っていたような結果を残すことが出来ず反省しています。

会員数 33 名からのスタートで 40 名復帰を目標に掲げての増強活動でしたが、目標に遠く及ばず、新規入会者 2 名、退会者 1 名で純増 1 名という結果に終わりました。私も委員長として他の会員の協力も仰いで 10 名に声掛けしましたが、入会まであと少しのところまでこぎつけた候補者もいましたが、1 名も入会してもらうことが出来ませんでした。原因は、コロナ感染拡大が長引き、その影響も大きかったのが一番だと思いますが、最後の詰めも甘く結果を残せなかったと反省もしております。

次年度は入会 2 年目の黒木さんが増強委員長を引き継ぐことになり、新しいやり方で会員増強に取り組んでもらえるようですが、私も副委員長に指名されましたので、黒木さんをサポートし会員増強に取り組みたいと思っています。能登さんから、尾熊さんは結果を残すまで増強をやれと言われているようで、プレッシャーを感じています。

最後になりますが、会員増強は委員会だけで取り組むのではなく、会員全員で取り組まなければ結果は出ませんので、引き続き皆さん方のご協力をお願いし、退任の挨拶といたします。

ありがとうございました。

《親睦委員長・・・高尾 英士》

活動計画書を作成する頃は、新型コロナウイルスがこのように長引くとは思っていませんでした。楽しい計画は中止せざるを得ず、誠に残念です。

役目である例会場での受付業務を新入会員の黒木さん、吉山さんお二人を含め、笑顔で皆様をお迎えすることに努めました。

一年間ご協力ありがとうございました。

《広報委員長・・・登里 孝司》

本年度を振り返ってみますとコロナウィルスに振り回された一年だったような気がいたします。実施計画にも掲げていましたが、コロナの影響で、対外的な奉仕活動が中止となり、地域社会への情報発信ができませんでした。やむを得ない事情ではありましたが、反省ばかりの一年でした。会員の皆様の御理解、御協力のお蔭で何とか乗り切ることができました。

感謝申し上げます。有難うございました。

《例会委員長・・・塩川 裕樹》

藤井啓之さん、鹿内さん、石川さんと私の4名で月ごとに出席報告をしました。

例会プログラムの企画は、一日も早くクラブになじんでもらえればと思い、11月に黒木さんに新入会員卓話実施しました。また佐藤会長の目玉企画の戦略会議を2回開催しました。最終例会で佐藤会長より1年間の活動報告があれば、皆さんで振り返ってもらえればと思います。

上期は、例会プログラムを計画通り行えましたが、下期は、コロナ禍の影響により10回も例会が休会になり、吉山さんの新入会員卓話も出来ませんでした。

他クラブはコロナ禍でも工夫してZOOMを活用したWeb例会・ハイブリット例会をしており、休会日に試験的に開催出来ればと考えましたが、様々な理由で実現出来ませんでした。

※私は、ロータリーの魅力は何ととっても例会プログラム（ゲスト卓話など）の充実だと思い、今までロータリー活動をしてきましたが、今年に限り色々な意味で非常に残念な気持ちで一杯です。

《ロータリー財団、米山委員長・・・城之内 重信》

今年度で3回目のR財団・米山奨学会の委員長を務めさせ頂きました。

今年度はコロナ禍で厳しい経済状況のなかで、皆様にはご無理をお願い致しまして申し訳ございませんでした。しかし、当クラブの会員の皆様は、気持ちよくご協力して頂き感謝、感謝です。

次年度は細井さんが委員長を務められます。ご協力をお願い致します。

一年間お世話になり有難うございました。